

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	愛知大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>本構想は、「国境を越えて活動できる人材、世界と対話し『日本』を発信できる人材、地域社会に貢献できる人材」の養成をテーマとするプログラムであり、これまで現代中国学部が長年にわたって取り組んできた中国を中心とする「現地主義」教育の成果を踏まえ、「さくら21」と名付けられたプロジェクトによって、単に言語能力を伸ばさせるだけでなく、日本文化への理解を深めてそれを発信しうる能力をも強化することを目指している。あわせて、そのための条件整備を全学的に進め、「さくら21」プロジェクトを全学で展開していくとしている。中国と中国語に重点を置く豊かな教育実績と、それを更に上回る水準のグローバル人材の育成を目指しており、堅実な側面とチャレンジングな側面をあわせ持った構想であると高く評価できる。</p> <p>しかしながら、中国語に重点を置くあまり、英語教育への配慮にやや欠ける点が見られる。中国留学に主眼を置くとしても、最重要国際語である英語の学習を軽視すべきではないと思われる。また、海外留学生を送り出すだけでなく、他国からの留学生受入れも促進することが望まれる。その際、中国と他の諸国とのバランスという観点も重要かと思われる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	